

2023年度

理学療法学科 1 学年
教育計画

関東リハビリテーション専門学校

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 心理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : リハビ-ソック 心理学・臨床心理学(医歯薬出版) 参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 心理学の基礎知識を習得すること、および実践的な内容を通して、コミュニケーションスキルを身につけていくことを目標とする。

【講義概要】

近年は心の時代であり、人間理解をする上で心理学は欠かせない学問となった。本講義では心理学の成立と、この領域を学ぶ意義を紹介する。また、ディスカッションや心理検査を体験し、自分および他者について理解する力を身につけていく。

回数	項 目	内 容
1	心理学とは	授業概要の説明、心理学の意義
2	心理学の誕生と発展	心理学の目的、研究方法
3	感覚・知覚①	刺激閾、恒常性等
4	感覚・知覚②	注意、認知等
5	情動①	情動2要因説、動機づけ
6	情動②	パーソナリティ、社会の中での行動
7	記憶・学習①	記憶のしくみ、分類
8	記憶・学習②	学習理論
9	言語・概念①	言語理解、言語の障害
10	言語・概念②	概念のしくみ、思考と推理
11	発達と知能①	発達理論、エリクソンの発達段階
12	発達と知能②	乳児期から児童期
13	発達と知能③	青年期から老年期
14	まとめ	これまでの復習
15	定期試験	

【成績評価方法】 定期試験および平常点により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式が基本である。

さらに授業の中で、ディスカッションや心理検査を体験する時間も設ける。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 物理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 問題演習等を通して、理学療法士として必要な物理的な考え方や計算方法を習得させる。

また、それにふさわしい学習態度を定着させる。

【講義概要】

物理学は、自然現象を理解する学問である。この講義では理学療法士が理学療法評価や運動療法、物理療法を行う際に必要な物理的な考え方を学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	運動の表し方	速度、加速度
2	運動の表し方 運動の法則	加速度、力とそのはたらき
3	運動の法則	力のつりあい
4	運動の法則	力のつりあい、運動の法則
5	運動の法則	摩擦を受ける運動、液体や気体から受ける力
6	運動の法則	剛体にはたらく力のつりあい
7	運動の法則	国試問題演習
8	仕事と力学的エネルギー	仕事
9	仕事と力学的エネルギー	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの保存
10	仕事と力学的エネルギー熱と熱量	力学的エネルギーの保存、熱と熱量
11	波の性質	波と媒質の運動
12	電場、電流	静電気力、オームの法則
13	電流、電磁波	直流回路、電磁波
14	振り返り	振り返り
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。また、物理現象を確認できる演習の時間を適宜取り入れる。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 生物学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : なし

参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 日常生活や社会、理学療法との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【講義概要】

理学療法で重要な解剖・生理・発生の分野での基礎科学（理学）を学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	生物の多様性と共通性	生物の多様性、共通性
2	生物の基本単位－細胞－	いろいろな細胞の形と大きさ、生物のからだと細胞
3	生物の基本単位－細胞－	細胞の基本構造、原核細胞・真核細胞
4	エネルギーと代謝	代謝、酵素
5	光合成と呼吸	光合成、呼吸と発酵
6	光合成と呼吸	生物とエネルギー、ミトコンドリアと葉緑体
7	遺伝情報とDNA	遺伝情報とゲノム、DNAの構造
8	遺伝情報の複製と分配	DNAと染色体、染色体の構成と核相
9	遺伝情報の複製と分配	DNAの複製、遺伝情報と生殖
10	遺伝情報と発現	タンパク質、RNA
11	遺伝情報と発現	遺伝子DNAからタンパク質へ、遺伝子とゲノム
12	免疫	免疫、自然免疫
13	免疫	免疫と病気、免疫と医療
14	まとめ	まとめ
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式を基本とし、授業を進めていく。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 情報科学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 30時間でマスターOffice2013 (実教出版)
 (出版社)

参考書 :
 (出版社)

教育目標 【 到達目標 】 : 情報化社会に必要なMicrosoft officeの基本操作を習得する。

①Wordで簡単な報告書が作成できる ②Excelで計算式を使った表とグラフの作成ができる

③Power pointで図や画像をとりこんだスライドの作成ができる

【講義概要】

報告書や発表用の資料などの作成を、Microsoft office (Word、Excel、PowerPoint) を用いて学習する。

Officeの基本操作と機能を実習形式で学習する。

回数	項 目	内 容
1	office実習 Word①	ページ設定、文字修飾（色、下線、サイズ）、課題作成
2	Word②	段落修飾（インデント、配置、間隔）、課題作成
3	Word③	表を活用した文書の作成、表の編集、課題作成
4	Word④	画像を活用した文書の作成、課題作成
5	中間テスト	Wordの実習問題（A41枚）
6	Excel①	計算式の入力、課題作成
7	Excel②	絶対参照、相対参照、課題作成
8	Excel③	関数の利用（SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT）、課題作成
9	Excel④	罫線、グラフの作成、課題作成
10	Power point①	スライドのレイアウト、テーマの利用
11	Power point②	文字修飾とワードアート挿入
12	Power point③	図形の作成
13	Power point④	アニメーション 画面切り替え効果
14	まとめ	Excel・PowerPointの課題作成
15	まとめ	Excel（計算式、グラフ）とPowerPoint（スライド作成）の実習問題

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 パソコン実習室にて、講義実習形式で行う。

教科書に沿った実習を行うため、毎回教科書は持参してくること。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 人間関係論

担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 : リハベリック コミュニケーション論・多職種連携論(医歯薬出版) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : GIO: 医療従事者として良好な人間関係を作る能力を身に付ける。

SBO : ①良好な人間関係を作るための知識を理解する。②医療従事者におけるコミュニケーション能力の重要性を理解する。

③相手に不快感を与えないコミュニケーションが行える。

【講義概要】

理学療法士が患者や医療関係者との良好な人間関係を構築するために必要な知識やコミュニケーションスキルなどを講義や演習を通して学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション
2	社会人・医療人のマナー	社会人・医療人のマナー
3	社会人・医療人のマナー②	社会人・医療人のマナー②
4	コミュニケーション論と多職種連携論	コミュニケーション論・多職種連携論
5	コミュニケーション論①	コミュニケーションの基本的な考え方
6	コミュニケーション論②	コミュニケーションに必要とされる力
7	コミュニケーション論③	バーバルコミュニケーション
8	コミュニケーション論④	ノンバーバルコミュニケーション
9	コミュニケーション論⑤	コミュニケーションの手法
10	コミュニケーション論⑥	コミュニケーション演習
11	コミュニケーション論⑦	対象別の伝達
12	コミュニケーション論⑧	医療面接
13	多職種連携論	多職種連携とチーム医療
14	振り返り	グループディスカッションによる前期の振り返りと発表
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが、レポート作成やロールプレイの時間を適宜取り入れる。担当教員は理学療法士で病院などでの勤務経験があり、その際に経験・学習したことに基づき授業を展開する。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 英語

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 20 Medical Dialogs (Yumi Press)
(出版社)参考書 :
(出版社)

教育目標 【 到達目標 】 : 特にリハビリテーションの現場を主点にして企画されたというテキストに基づいて、そこから見えてくる英語の基礎をもう一度見直していく

【講義概要】

文法的なことを医学英語の上から学ぶためプリントを上記テキストを併用して講義をする

回数	項 目	内 容
1	Unit 1 Print 1 自己紹介	まず自己紹介文が書けるように
2	Unit 2 Print 2	Parts of the Body
3	Unit 3 Print 3	数を英語で言う
4	Unit 4 プリント No. 4	助動詞について
5	Unit 5 プリント No. 5	名詞のいろいろ
6	Unit 6 プリント No. 6	応用文
7	Unit 7	物語を読む
8	Unit 8 プリント No. 7	疑問詞を使いこなす
9	Unit 9 プリント No. 8	不定詞 最も英語らしい英語
10	Unit10	同上
11	Unit11 プリント No. 9	医学英語の接頭語、接尾語
12	Unit12 プリント No.10	五文型の動詞
13	Unit13 プリント No.11	現在完了形
14	Unit14	一日一課は無理なところでこぼれたところ
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 教科書とプリントを併用して講義形式で行う。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 保健体育

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 百寿時代の運動・スポーツのトリセツ
 (出版社) : -日本臨床スポーツ医学会からの提案-

参考書 :
 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 1. 運動に対する体の適応や外傷、障害時の応急処置、運動強度の目安などを理解する

2. 障害者スポーツの現状を知り、疑似的な運動体験を通してその運動特性を理解する

3. ニュースポーツの概念を理解し、実際に体験や既存種目からの創造を行う

【講義概要】

トレーニングの基礎を理論と実技より理解していくとともに、外傷や障害発生時の対処方法について学ぶ。

また障がい者スポーツの現状の理解と運動特性についても実際に体験することで学んでいく。

回数	項 目	内 容
1	ガイダンス、オリエンテーション	講義展開の説明、自己・他己紹介
2	健康を脅かす要因	現代における健康を脅かす要因と運動の必要性
3	体育館実技	バスケットボール・バレーボールの球技実践
4	運動の有効性	運動が心身に与える影響について
5	スポーツの位置づけ	スポーツの位置づけとスポーツとの接し方
6	運動のリスク1	運動のリスク、突然死
7	運動のリスク2	運動のリスクー外科的・内科的問題ー
8	体育館実技	バスケットボール・バレーボールの球技実践
9	コンディショニング	コンディションを左右する要因とコンディショニング
10	実技	自体重で行うトレーニングの理解と実践
11	W-Up, リカバリー	運動におけるW-Up・リカバリーの必要性と方法
12	体育館実技	バスケットボール・バレーボールの球技実践
13	実技	体育館等での球技や自体重での運動実践
14	ニュースポーツ	ニュースポーツの概要とスポーツの在り方
15	総合課題	前期の内容を振り返ってのレポート課題作成

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 競技やコンディショニングなどの実技を中心に講義を交えながら授業を進めていく。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 保健体育

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) :

教育目標【到達目標】 : 1. 運動に対する体の適応や外傷、障害時の応急処置、運動強度の目安などを理解する

2. 障がい者スポーツの現状を知り、疑似的な運動体験を通してその運動特性を理解する

3. ニュースポーツの概念を理解し、実際に体験や既存種目からの創造を行う

【講義概要】

トレーニングの基礎を理論と実技より理解していくとともに、障害時の対処方法について学ぶ。

また障害者スポーツの現状の理解と運動特性についても実際に体験することで学んでいく。

回数	項 目	内 容
1	障がい者スポーツ	障がい者スポーツの概要、種類
2	体育館実技	卓球、SST（サウンドテーブルテニス）の実践、体験
3	ニュースポーツ	ニュースポーツやアーバンスポーツといった新しい形のスポーツについて
4	運動設定、障がい者スポーツ	目的に応じた運動設定、障がい者スポーツについてのグループワークでまとめる
5	運動設定、障がい者スポーツ	目的に応じた運動設定、障がい者スポーツについてのグループワークでまとめる
6	運動設定、障がい者スポーツ	目的に応じた運動設定、障がい者スポーツについてのグループワークでまとめる
7	運動設定演習	主観的、客観的な指標を用いての運動処方設定
8	体育館実技	自体重でのトレーニング、障がい者スポーツの疑似体験
9	体育館実技	球技、ネット競技の実践
10	障がい者スポーツ	障がい者スポーツについてグループワークでまとめる
11	障がい者スポーツ	グループワークによる障がい者スポーツについてのプレゼンテーション
12	障がい者スポーツ	グループワークによる障がい者スポーツについてのプレゼンテーション
13	障がい者スポーツ	グループワークによる障がい者スポーツについてのプレゼンテーション
14	総合演習	スポーツの在り方について
15	総論	講義を通じて「スポーツの在り方」についてレポート作成

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 競技やコンディショニングなどの実技を中心に講義を交えながら授業を進めていく。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 解剖学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 4 単位 教育時間 : 120 時間(通年)

教科書 : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 参考書 :
(出版社) : 解剖学(医学書院) (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 人体の構造(形態)は医学を学ぶ上で基本となる学問であり臨床学問の基礎となる部分です
からよく教科書を読んで学んでほしい。

【講義概要】

解剖学は人体の構造や形態を学ぶ学問である。この講義では理学療法士が理学療法を行う際に必要な解剖学的な知識について学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	解剖学総論(解剖学とは)	人体の内部構造を理解する上での解剖学について
2	解剖学総論(解剖学とは)	肉眼解剖とは。顕微鏡解剖とは。
3	解剖学用語	解剖学的姿勢。体の区分を現す解剖学的表現。
4	解剖学用語	体の向きを現す用語。運動に関する用語について。
5	細胞	細胞から個体(人体)へ。個体のヒエラルキー(階属性)について。
6	細胞	細胞の形態的特徴。細胞内小器官の機能(働き)について。
7	組織及び発生	上皮・支持・筋・神経組織の構造上の特徴。
8	組織及び発生	人体発生の基礎。受精卵から胎児、個体への変化について。
9	循環器系(その1)	循環器系総論。
10	循環器系(その1)	循環器を構成する臓器。血管の分裂。動脈・毛細血管の構造。
11	循環器系(その2)	肺循環・大循環系。心臓の構造。
12	循環器系(その2)	血管の組成と機能。
13	循環器系(その3)	脳循環・門脈・胎児循環について。
14	循環器系(その3)	リンパ液の組成とリンパ循環について。
15	呼吸器系	気管・気管支・肺の構造。
16	呼吸器系	鼻・咽頭・喉頭の構造。
17	消化器系(その1)	消化とは。吸収とは。
18	消化器系(その1)	消化管を構成する臓器について。
19	消化器系(その2)	食道・胃・小腸・大腸の構造と吸収のメカニズム。
20	消化器系(その2)	食道・胃・小腸・大腸の構造と吸収のメカニズム。

2 1	消化器系 (その3)	肝臓の肉眼及び微細構造。胆汁の流れについて。
2 2	消化器系 (その3)	膵臓の構造。内分泌腺・外分泌腺と膵液の流れ方。
2 3	泌尿器系	腎臓の肉眼構造と微細構造。
2 4	泌尿器系	腎小体とは。ネフロンとは。尿路系。
2 5	内分泌 (その1)	ホルモンとは。ホルモンの科学的性状。
2 6	内分泌 (その1)	ホルモン分泌のメカニズム。ホルモン産生・分泌部位。
2 7	内分泌 (その2)	各ホルモンの生体に及ぼす反応。
2 8	内分泌 (その2)	血糖・体液・Ca・体温調節に関するホルモン。
2 9	生殖器系	男性生殖器系の構成と構造。女性生殖器系の構成と構造。
3 0	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。模型などを使い理解を深める時間を適宜取り入れる。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 解剖学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 4 単 位 教育時間 : 120 時間(通年)

教科書 : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 参考書 :
(出版社) : 解剖学(医学書院) (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 人体の構造(形態)は医学を学ぶ上で基本となる学問であり臨床学問の基礎となる部分ですからよく教科書を読んで学んでほしい。

【講義概要】

解剖学は人体の構造や形態を学ぶ学問である。この講義では理学療法士が理学療法を行う際に必要な解剖学的な知識について学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	末梢神経系	脊髄神経総論：前根・前枝、後根・後枝の定義と支配領域
2	末梢神経系	脊髄神経各論：頸神経の構成と支配領域
3	末梢神経系	脊髄神経各論：胸神経の構成と支配領域
4	末梢神経系	脊髄神経各論：腰神経の構成と支配領域
5	末梢神経系	脊髄神経各論：仙骨神経の構成と支配領域
6	末梢神経系	脊髄神経各論：脊髄神経まとめ
7	末梢神経系	脳神経総論：脳神経系の構成と支配領域
8	末梢神経系	脳神経各論：機能(1)
9	末梢神経系	脳神経各論：機能(2)
10	末梢神経系	自律神経総論：構成と機能支配領域
11	末梢神経系	自律神経各論：生体への反応(1)
12	末梢神経系	自律神経各論：生体への反応(2)
13	末梢神経系	末梢神経系：まとめ
14	特殊感覚	眼・耳・鼻・舌の構造
15	特殊感覚	眼・耳・鼻・舌の機能(1)
16	特殊感覚	眼・耳・鼻・舌の機能(2)
17	運動器系	筋細胞の種類
18	運動器系	筋の形態的分類
19	運動器系	頭頸部の筋
20	運動器系	体幹の筋

2 1	運動器系	下肢の筋
2 2	呼吸器系	呼吸器系の構成
2 3	呼吸器系	上気道の構造
2 4	呼吸器系	下気道の構造
2 5	消化器系	消化器系の構成
2 6	消化器系	胃・小腸・大腸の構造
2 7	消化器系	肝臓・胆嚢・膵臓の構造
2 8	泌尿器系	泌尿器系の構成
2 9	泌尿器系	腎臓の血管支配と尿生成 膀胱の構造と排尿メカニズム
3 0	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。模型などを使い理解を深める時間を適宜取り入れる。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 生理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 4 単位 教育時間 : 120 時間(通年)

教科書 : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学(医学書院) (出版社) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 医療人として、世の中でもっとも弱者である患者の治療を行なう理学療法士として、まずは健康人の身体の生理機能を理解する。そして、病態による生理機能の変化を知る。

人体(個体)を構成する器官(臓器)の機能(役割)について理解する。

【講義概要】

医療に携わる人にとって基礎医学を包含したヒトの生体機能を学ぶ生理学は欠かせない学問である。

本講義では細胞機能から体内の情報伝達機構、ホルモンの働きなど、理学療法士に必要な内容を学習する。

回数	項 目	内 容
1	生理学総論 (生理学とは)	個体を構成する器官の機能について
2	生理学の基礎	個体の生命現象・内部環境の恒常性 (ホメオスタシス) について
3	細胞の構造と機能	細胞膜の構造と機能について
4	細胞の構造と機能	細胞内小器官の種類とその営みについて
5	細胞の構造と機能	核と遺伝子構造ときのうについて
6	物質の移動	物質移動の現象
7	体液の組成と機能	体液の区分
8	体液の組成と機能	血漿浸透圧と血圧調節メカニズムについて
9	循環器系 その1	血液の組成と機能1
10	循環器系 その2	血液の組成と機能2
11	循環器系 その3	体内の血液循環 (体・肺循環系)
12	循環器系 その4	心臓の自律性と刺激伝導系
13	循環器系 その5	心電図と心周期
14	循環器系 その6	血圧調節メカニズム
15	循環器系 その7	特殊な血液循環 (脳・心臓・消化器系)
16	呼吸器系 その1	ガス交換メカニズム
17	呼吸器系 その2	呼吸調節のメカニズム
18	呼吸器系 その3	酸塩基平衡
19	消化器系 その1	栄養素とは、消化とは、吸収とは
20	消化器系 その2	口腔内消化と唾液の機能について

2 1	消化器系 その3	胃消化について、小腸における消化機能について
2 2	消化器系 その4	肝臓・膵臓の機能と消化液について
2 3	消化器系 その5	大腸における消化機能について
2 4	泌尿器系 その1	腎臓の肉眼構造と血流
2 5	泌尿器系 その2	尿生成のメカニズム 1
2 6	泌尿器系 その3	尿生成のメカニズム 2
2 7	泌尿器系 その4	レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系 1
2 8	泌尿器系 その5	レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系 2
2 9	まとめ	1回から28回までの重要事項確認
3 0	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。模型などを使い理解を深める時間を適宜取り入れる。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 生理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 4 単位 教育時間 : 120 時間(通年)

教科書 (出版社) : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学(医学書院) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : 医療人として、世の中でもっとも弱者である患者の治療を行なう理学療法士として、前期では、生理学の基礎力を養った。後期は、さらに、深い理解力を養い、国家試験での問題の意味が理解できる。

特に、良く出題される項目やキーワードを理解し説明できる。

【講義概要】

医療に携わる人にとって基礎医学を包含したヒトの生体機能を学ぶ生理学は欠かせない学問である。

後期では前期で学んだ生理学の基礎を基に、循環機能や神経、筋肉のメカニズムなど、より理学療法士に必要な内容を学習する。

回数	項 目	内 容
1	内分泌系 その1	ホルモンの化学的・正常、細胞への作用機序
2	内分泌系 その2	ホルモン分泌のメカニズム (下垂体前葉・後葉)
3	内分泌系 その3	甲状腺・副甲状腺・副腎の各ホルモンの生理作用
4	内分泌系 その4	ホルモン分泌の異常
5	生殖器系 その1	女性生殖器の構造と機能
6	生殖器系 その2	男性生殖器の構造と機能
7	神経系 その1	神経系の構成と分類
8	神経系 その2	中枢神経の機能とグリア細胞の種類と機能
9	神経系 その3	大脳の機能局在 脳幹・小脳・間脳の機能
10	神経系 その4	脊髄の機能と運動神経の機能
11	神経系 その5	末梢神経の種類と機能
12	神経系 その6	〃
13	特殊感覚 その1	眼球・耳・鼻の構造と機能
14	特殊感覚 その2	視覚・聴覚・嗅覚・平衡感覚の伝導路
15	特殊感覚 その3	〃
16	代謝と体温	栄養素の代謝と体温調節機能
17	代謝と体温	〃
18	代謝と体温	〃
19	成長と老化	受精・妊娠・胎児発育機能
20	成長と老化	〃

2 1	成長と老化	〃
2 2	運動の生理機能	筋収縮メカニズムと呼吸機能
2 3	運動の生理機能	〃
2 4	運動の生理機能	〃
2 5	国家試験模擬問題	問題練習と解説
2 6	国家試験模擬問題	〃
2 7	総復習	1～27回目までの総復習
2 8	総復習	〃
2 9	総復習	〃
3 0	総復習	〃

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。模型などを使い理解を深める時間を適宜取り入れる。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 運動学

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 4 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 運動学 第2版 (羊土社) 参考書 : 解剖学 第5版 (医学書院)
 (出版社) : 運動学ノート 第2版 (医歯薬出版) (出版社)

教育目標 【到達目標】 : GI0: 基本的な身体の運動を理解することができる。

SBO : ①生体力学 (てこの原理、モーメント) を理解できる。②骨の構造を説明できる。

③筋の構造と働きを説明できる。④関節の構造と機能を説明できる

【講義概要】

運動学では、解剖学、生理学、生体力学を中心に、身体運動の基本的な理解のため頭部、体幹、四肢の関節の基本的な構造と運動を学んでいきます。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	運動学とは
2	身体運動学の基礎	身体運動のとらえ方、運動力学
3	身体運動学の基礎	身体運動とモーメント、身体運動とてこ
4	運動器能構造と機能	骨の構造と機能
5	運動器能構造と機能	関節の構造と機能
6	運動器能構造と機能	骨格筋の構造と機能
7	肩の運動学	肩の構造と運動
8	肩の運動学	肩の構造と運動
9	肘の運動学	肘関節の構造と運動
10	手関節の運動学	手の構造と運動
11	股関節の運動学	股関節の構造と運動
12	膝関節の運動学	膝関節の構造と運動
13	足関節の運動学	足関節の構造と運動
14	体幹の運動学	体幹の構造と運動
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技方式を行う。
 担当教員は理学療法士として、病院・介護施設・在宅にて骨・筋・関節疾患のケースを担当し、教員として整形、中枢疾患の講義を経験を有する。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 運動学

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 4 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 (出版社) : エッセンシャル・キネシオロジー―機能的運動学の基礎と臨床(南江堂) 参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 筋肉が働くと人はどんな関節の動きをするのかを学ぶ。さらに、筋肉が働くことでどのような運動ができるかを考え、正常歩行分析が言えることを目標とする。

【講義概要】

前期で学んだ関節の動きが、どのように筋肉が働くことで運動が起きているかを勉強し、歩行を中心とした運動のメカニズムがどのように起きるのかを学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	股関節の運動学	股関節の筋を中心とした運動のメカニズム
2	股関節の運動学	股関節の筋を中心とした運動のメカニズム
3	膝関節の運動学	膝関節の筋を中心とした運動のメカニズム
4	膝関節の運動学	膝関節の筋を中心とした運動のメカニズム
5	足関節の運動学	足関節の筋を中心とした運動のメカニズム
6	足関節の運動学	足関節の筋を中心とした運動のメカニズム
7	肩関節の運動学	肩関節の筋を中心とした運動のメカニズム
8	肩関節の運動学	肩関節の筋を中心とした運動のメカニズム
9	肘関節の運動学	肘関節の筋を中心とした運動のメカニズム
10	手関節・手指の運動学	手関節・手指の筋を中心とした運動のメカニズム
11	体幹の運動学	体幹の筋をの筋を中心とした運動のメカニズム
12	歩行の運動学	正常歩行を学ぶ
13	歩行の運動学	タイプ別の歩行を学ぶ
14	復習	
15	まとめ	

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

病院で勤務経験のある理学療法士が実務経験に基づいて、理学療法士養成に向けた授業を展開します。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 医学概論

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : なし

参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 医療全体の歴史的な流れ、現状と問題点、将来への展望を学び、理学療法士に必要な知識を習得させることを目標とする。

【講義概要】

医学とは何かを理解し、病気に関して、日本の社会保障・医療制度、リハビリテーションを通じて各医療職の役割、医の倫理、法制度などを学習する。

回数	項 目	内 容
1	健康について	健康の定義、寿命、死亡率、疾病の予防
2	感染経路	感染経路、ワクチン
3	感染の予防	消毒、滅菌、殺菌、病原微生物の種類
4	環境問題	食糧問題、環境問題の人体に対する影響
5	公害	公害の人体に対する影響（公害病）
6	公衆衛生	上水道、下水道
7	健康保険	健康保険、介護保険、母子保健
8	職業病	熱中症、振動障害、じん肺、など
9	医学の研究法	コホート研究、症例対照研究
10	病原微生物	細菌
11	病原微生物	ウイルス
12	病原微生物	真菌、原虫
13	腫瘍	腫瘍のできるメカニズム
14	栄養	特にビタミンについて
15	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 病理学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : はじめの一步の病理学 第2版(羊土社)

参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 疾患の病理学的メカニズムを理解する

【講義概要】

病理学は病気の原因や成り立ちを明らかにすることを目的とした学問である。本講義では各疾患の成因やメカニズムについて解説していく。

回数	項 目	内 容
1	循環器	循環器疾患の原因とメカニズム
2	〃	〃
3	呼吸器	呼吸器疾患のメカニズム
4	消化器	消化器疾患のメカニズム
5	〃	〃
6	神経系	神経系の疾患のメカニズム
7	〃	〃
8	尿路系	尿路系疾患のメカニズム
9	免疫系	免疫系の疾患のメカニズム
10	血液	血液疾患のメカニズム
11	〃	〃
12	内分泌	内分泌疾患のメカニズム
13	感染症	感染症について
14	代謝系	代謝疾患のメカニズム
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 一般臨床医学

担当講師 : 非常勤講師

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書
(出版社) : なし参考書
(出版社) :

教育目標【到達目標】：健康、疾病及び障害について、その予防と発症・治療、回復過程における知識を習得し、理解力、観察力、判断力を養うとともに、高度化する医療ニーズに対応し、理学療法を実践するため必要な、画像診断学、救急救命医学、疾病の予防の基礎知識を学ぶ。

【講義概要】

理学療法の臨床に必要な、疾病の予防の基礎知識、画像診断、救急救命医学につて、実例を交えながら講義を行います。

回数	項 目	内 容
1	画像診断 頭部①	脳腫瘍の画像診断
2	画像診断 頭部②	脳卒中、頭部外傷の画像診断
3	画像診断 呼吸器①	肺癌の画像診断
4	画像診断 呼吸器②	肺炎、呼吸器外傷の画像診断
5	画像診断 心臓	冠動脈疾患の画像診断、心臓弁膜症の画像診断
6	画像診断 消化器	消化性潰瘍、消化器腫瘍の画像診断
7	画像診断 泌尿器	尿路系結石、尿路系腫瘍の画像診断
8	画像診断 生殖器	子宮体癌、子宮頸癌、前立腺癌の画像診断
9	画像診断 骨格	整形外科疾患の画像診断
10	救命救急①	心肺蘇生法、呼吸管理
11	救命救急②	心臓、循環系の管理
12	救命救急③	心電図の読み方
13	予防医学①	1次予防、2次予防、3次予防
14	予防医学②	呼吸器疾患、心臓疾患後のリハビリテーション（3次予防）
15	まとめ	試験、まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とし、スライドと資料をもって説明する。

臨床での知識と経験をお伝えしていきたい。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : リハビリテーション理念

担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : リハビリテーションビジュアルブック 第2版

参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : 病院から在宅まで包括的なリハビリテーションを理解する。

【講義概要】 リハビリテーションとは、多くの専門職が連携して問題を解決していく総合的アプローチであるという点を理解するため、障害に対する知識や福祉機器等へ理解、グループワークを通して医療・保健・福祉などの多職種連携および地域包括ケアシステムの概念を学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	リハビリテーションの理解	リハビリテーション構成メンバー・めざすもの、ICFに基づく考えかた
2	リハビリテーションの理解	リハビリテーション構成メンバー・めざすもの、ICFに基づく考えかた
3	リハビリテーションの理解	リハビリテーション構成メンバー・めざすもの、ICFに基づく考えかた
4	リハビリテーションの理解	リハビリテーション構成メンバー・めざすもの、ICFに基づく考えかた
5	生活環境論について	地域包括ケアシステム
6	生活環境論について	在宅復帰・環境設定（家屋調整）
7	生活環境論について	在宅復帰・環境設定（家屋調整）
8	生活環境論について	在宅復帰・環境設定（家屋調整）
9	生活環境論について	転倒予防
10	生活環境論について	住宅改修
11	疾患に対するリハビリテーション	運動器疾患（骨折・変形性関節症）
12	疾患に対するリハビリテーション	運動器疾患（骨折・変形性関節症）
13	疾患に対するリハビリテーション	脳卒中・総論、脳出血・脳梗塞・くも膜下出血・脳卒中へのアプローチ
14	疾患に対するリハビリテーション	脳卒中・総論、脳出血・脳梗塞・くも膜下出血・脳卒中へのアプローチ
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが、グループディスカッションなどを通して学習を進める。担当教員は訪問リハビリテーションや介護予防事業に携わった経験があり、実務経験を基に理学療法士として必要な知識が得られるよう、授業を進めていく。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 保健医療福祉学

担当講師 : 反町 拓

単 位 : 2 単位 教育時間 : 30 時間

教科書 (出版社) : 公衆衛生がみえる2020~2021 (メディックメディア) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : (G10)わが国の保健・医療・福祉の概要を理解する。

(SB0s)・高齢化が急激に進むわが国の保健・医療・福祉情勢の概要が説明できる。

・社会保障制度（所得保障・障害者福祉・高齢者福祉・医療保障・公衆衛生）の概要が説明できる。

【講義概要】 わが国の社会情勢と保健・医療・福祉を取り巻く諸問題—特に社会保障制度（所得保障・障がい者福祉・高齢者福祉・医療保障・公衆衛生・自立支援・就労支援）の概要について学んでいく。また将来の社会支援の担い手としてノーマライゼーションや障がい者の社会参加について学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	この講義の説明 保健医療福祉学とはなにか 受講生心構え
2	保健医療福祉の概念	わが国の保健医療福祉を取り巻く状況 COVID-19をめぐる状況
3	わが国の保健医療福祉制度①	保険制度の概要・所得保障（生活保護・年金保険・労災・雇用）①
4	わが国の保健医療福祉制度②	保険制度の概要・所得保障（生活保護・年金保険・労災・雇用）②
5	わが国の保健医療福祉制度③	障がい者・高齢者・児童・母子家庭の社会福祉
6	わが国の保健医療福祉制度④	障がい者・高齢者・児童・母子家庭の社会福祉
7	わが国の保健医療福祉制度⑤	障がい者の社会参加（自立支援・職業支援）
8	わが国の保健医療福祉制度⑥	介護保険制度・地域包括ケアシステム
9	わが国の保健医療福祉制度⑦	医療保険制度① 医療保険の仕組み
10	わが国の保健医療福祉制度⑧	医療保険制度② 医療保険制度と公費負担医療
11	わが国の保健医療福祉制度⑧	公衆衛生（感染症対策・検疫・予防）
12	諸外国の保健医療福祉	諸外国（米英・北欧）の保健医療福祉
13	疫学と統計①	自然科学系の研究法 統計学・疫学とはなにか
14	疫学と統計②	自然科学系の研究法 感度・特異度・尤度比
15	まとめと確認テスト	前期の復習とまとめ、確認テスト

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式は対面講義が中心であるが、現代の保健・医療・福祉における問題点について討議する時間も取り入れる。講師は地域リハビリテーションや認知症研究、障がい者スポーツに携わった経験に基づき、医療福祉領域における理学療法士の役割や保健・医療・福祉を取り巻く問題などを新聞・ニュースなどの具体的題材を提示し、分かりやすく伝えていく。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 理学療法概論

担当講師 : 石川 幸喜

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 30 時間

教科書 : 15レクチャーシリーズ 理学療法テキスト (出版社) : 理学療法概論 (中山書店) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GIO : 理学療法の概念や歴史, 定義, 対象となる疾患の理学療法を理解する。

SB0 : 理学療法の歴史, 定義, 法律, 職業倫理, 保険制度について説明できる。障害の概念, ICFと理学療法の関連性につ

いて説明できる。理学療法の構成と対象となる疾患別の理学療法の大枠が説明できる。

【講義概要】 理学療法とは何かを知るためにその概念, 歴史を知り, 疾患別の理学療法や急性期, 回復期, 維持期の理学療法について学修する。また法律, 職業倫理, 保険制度など理学療法の背景についても学習し理解を深める。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション 理学療法の概	理学療法の概要とリハビリテーションにおける理学療法の役割
2	理学療法の背景 (1)	障害の概念・分類, 保険制度
3	理学療法の背景 (2)	歴史・法律, 職業倫理, 日本理学療法士協会
4	理学療法の構成	運動療法と物理療法, 理学療法の流れ 他
5	理学療法に必要な知識と実習	養成施設指定規則, 学習科目, 学習への取り組み
6	理学療法の主対象 (1)	中枢神経系
7	理学療法の主対象 (2)	運動器系
8	理学療法の主対象 (3)	内部障害系
9	理学療法の主対象 (4)	がん, 介護予防
10	病期・職域別の理学療法 (1)	急性期
11	病期・職域別の理学療法 (2)	回復期
12	病期・職域別の理学療法 (3)	生活期 (維持期)
13	病期・職域別の理学療法 (4)	在宅における役割
14	病期・職域別の理学療法 (5)	行政における役割 研究における役割
15	講義のまとめ	

【成績評価方法】 小テスト (20点), 定期試験 (80点) にて評価する。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが, 講義内容に応じてグループワークを実施し, 自ら学ぶ取り組みも進めていく。担当教員が急性期・慢性期病院, 老人保健施設, 通所・訪問リハビリテーションの経験を基に, 理学療法の概要についてわかりやすく授業を進めていく。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 基礎理学療法学 I

担当講師 : 工藤 美保子

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 機能解剖学的触診技術 上肢/体幹・下肢 (メジカルビュー社) 参考書 (出版社) : 標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版 (医学書院)

教育目標 【到達目標】 : GIO : 学生が理学療法の評価治療を実施できるようになるために、基本的な骨と関節、筋肉の名称を知り触診ができるようになる。SBO : ①運動軸と運動方向、基本的体位の名称を知り理解する。②基本的な骨とその部位、関節、筋肉の名称や機能を知る。③検査測定で必要となる骨ランドマークを列挙し触診できる。

【講義概要】

理学療法の基礎知識となる骨と関節、筋肉の名称を知るために、講義と課題学習を行う。

運動方向や運動軸、基本的体位の理解、骨ランドマークや筋の触診が行えるようになるために講義と実技練習を行う。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・運動の基本知識
2	講義	運動の基本知識・全身の骨
3	講義	上肢の骨 : 肩甲骨・鎖骨・上腕骨
4	講義・触診	上肢の骨 : 肩甲骨・鎖骨・上腕骨
5	講義	上肢の骨 : 尺骨・橈骨・手指骨
6	講義・触診	上肢の骨 : 尺骨・橈骨・手指骨
7	講義	下肢の骨 : 大腿骨・脛骨・腓骨・足部
8	講義・触診	下肢の骨 : 大腿骨・脛骨・腓骨・足部
9	講義	体幹の骨 : 骨盤・脊柱
10	講義・触診	体幹の骨 : 骨盤・脊柱
11	講義	関節の名称と靭帯
12	講義・触診	関節の名称と靭帯
13	講義・触診	上下肢・骨盤・足部の骨触診 関節可動域について
14	振り返り	まとめと復習
15	まとめ	まとめと復習
16	講義	上肢筋 三角筋～前鋸筋
17	講義・触診	上肢筋 三角筋～前鋸筋
18	講義	上肢筋 上腕二頭筋～回外筋
19	講義・触診	上肢筋 上腕二頭筋～回外筋
20	講義	下肢筋 腸腰筋～大内転筋

2 1	講義・触診	下肢筋 腸腰筋～大内転筋
2 2	講義	下肢筋 大腿直筋～膝窩筋
2 3	講義・触診	下肢筋 大腿直筋～膝窩筋
2 4	講義	下肢筋 前脛骨筋～短指屈筋
2 5	講義・触診	下肢筋 前脛骨筋～短指屈筋
2 6	講義	体幹筋 腹直筋・内外腹斜筋・広背筋・背筋群
2 7	講義・触診	体幹筋 腹直筋・内外腹斜筋・広背筋・背筋群
2 8	講義・触診	上肢筋 前腕・手筋 長掌筋～虫様筋
2 9	振り返り	まとめと復習
3 0	まとめ	総合確認

【成績評価方法】 筆記・実技試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技形式で行う。

担当教員は、病院や施設、訪問リハビリテーションにおける急性期から慢性期までの理学療法経験を授業に生かしていきたい。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 基礎理学療法Ⅱ

担当講師 : 反町 拓

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間(前期)

フィジカルアセスメント完全攻略BOOK (慧文社)
障がいがある人のスポーツ指導教本 初級・中級
(ぎょうせい)

教科書 (出版社) : 理学療法評価学 (金原出版)

参考書 (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : (GIO) ①バイタルサインを測定する意義を理解する。②運動・刺激による身体の変化について理解する。③パラスポーツを理解する。(SB0s) ①バイタルサインを測る意味・目的・背景を説明できる。 ②バイタルサインの指標、変化の理由が説明ができる。③バイタルサインを正確に測ることができる。④パラスポーツの目的が説明できる。

【講義概要】 バイタルサイン（意識レベル・脈拍・血圧・呼吸・体温）を測る意味・目的・生理学的背景を理解し、演習を通じてそれらを正確に測る事ができることを目標とする。トレーニングやリハビリテーションが身体へ与える影響を学んでいく。パラスポーツの紹介をする。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	この講義の説明 運動生理学を学ぶ意義 受講生心構え
2	健康の増進と運動 (1)	バイタルサインを測る意義
3	健康の増進と運動 (2)	健康の増進（ヘルスプロモーション）と運動の意義
4	身体運動のしくみ	筋の構造と機能 運動と筋の関係について
5	バイタルサイン (1)	循環の生理学① 循環器・脈管の構造
6	バイタルサイン (2)	循環の生理学② 循環器・脈管の機能
7	バイタルサイン (3)	循環の生理学③ 血圧と脈拍の測定
8	バイタルサイン (4)	循環の生理学④ 運動時の血圧と脈拍の測定
9	バイタルサイン (5)	呼吸の生理学① 呼吸器の構造
10	バイタルサイン (6)	呼吸の生理学② 呼吸器の機能
11	バイタルサイン (7)	呼吸の生理学③ 呼吸の測定
12	バイタルサイン (8)	呼吸の生理学④ 呼吸機能測定
13	運動とエネルギー代謝 (1)	栄養素とエネルギー代謝について
14	運動とエネルギー代謝 (2)	エネルギー代謝と測定方法について
15	まとめと確認①	これまでの範囲の知識の確認
16	解説と振り返り①	解説と振り返り
17	バイタルサイン (10)	体温総論 高体温 低体温
18	バイタルサイン (11)	体温測定・意識レベル・BLS・救急救命について
19	運動生理の基礎 (1)	体力測定 (ATの推測・Borg Scale)
20	運動生理の基礎 (2)	体力測定・運動処方

2 1	運動生理の基礎 (3)	運動処方・Borg Scale・AT RM
2 2	運動生理の基礎 (4)	筋生理① 筋力の測定
2 3	運動生理の基礎 (5)	筋生理② 筋電図 筋収縮・筋持久力・筋パワーの測定
2 4	運動生理の基礎 (6)	筋力トレーニング理論① トレーニングの原理
2 5	運動生理の基礎 (7)	筋力トレーニング理論② トレーニングと栄養
2 6	パラスポーツ (1)	パラスポーツの意義と目的
2 7	パラスポーツ (2)	パラスポーツへのかかわり方
2 8	パラスポーツ (3)	パラスポーツ実習
2 9	まとめと確認②	これまでの範囲の知識の確認
3 0	解説と振り返り②	解説と振り返り
<p>【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。</p>		
<p>【授業の方法・形式と教員紹介】 講義形式は対面講義に加え、演習を実施する。演習では、運動生理学的背景に基づき、バイタルサイン測り方の習得と測る意義の理解、記録・報告の方法の経験を目標とする。講師は医療機関、福祉施設に従事し、機能障害、活動制限の症例を多数担当した。臨床に即し、安全で個別性に配慮した計測やトレーニング方法の実践を解説する。</p>		

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 理学評価学Ⅰ [形態測定]

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 理学療法評価学 改定第6版 (金原出版) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GI0;理学療法における評価の意義を理解し、障害に適した検査・測定項目を選択・実施することができる。 SB0;①各検査・測定に必要な解剖学・生理学・運動学的知識を有する。

②信頼性・再現性のある検査・測定が実施できる。 ③検査測定の臨床的意義を説明できる。

【講義概要】

理学療法評価とは、理学療法対象者の障害像を捉えることである。

この授業では、理学療法評価の進め方や理学療法評価に必要な検査・測定の意義や方法について学ぶ。

回数	項目	内容
1	評価総論	オリエンテーション
2	評価総論	評価の意義、評価方法の種類
3	評価の基礎知識	検査測定に必要な解剖学・運動学の知識の確認
4	評価の基礎知識	検査測定に必要な解剖学・運動学の知識の確認
5	評価の基礎知識	検査測定に必要な解剖学・運動学の知識の確認
6	評価の基礎知識	検査測定に必要な解剖学・運動学の知識の確認
7	一般的評価事項	医療情報、病歴の取り方、現症、観察・検査・測定
8	形態測定	形態測定の意義・目的、身長・体重・体格指数
9	形態測定	四肢長
10	形態測定	周径
11	形態測定	実技練習
12	形態測定	実技練習
13	ROM-T	関節可動域測定について
14	ROM-T	肩関節
15	ROM-T	肩関節・肩甲帯
16	ROM-T	肘関節・前腕
17	ROM-T	手関節・手指
18	ROM-T	股関節
19	ROM-T	膝関節・足関節
20	ROM-T	頸部・体幹

2 1	形態測定・ROM-T	実技練習
2 2	形態測定・ROM-T	実技練習
2 3	形態測定・ROM-T	実技の確認
2 4	形態測定・ROM-T	実技の確認
2 5	形態測定・ROM-T	実技のまとめ
2 6	形態測定・ROM-T	実技のまとめ
2 7	形態測定・ROM-T	知識の整理と演習
2 8	形態測定・ROM-TT	知識の整理と演習
2 9	まとめ	形態測定・関節可動域測定のまとめ
3 0	まとめ	形態測定・関節可動域測定のまとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実技演習での学習を行う。実技演習の時間を多くとる。

担当教員は理学療法士として病院での勤務経験があり、患者に対して理学療法評価を行っていた。

その経験に基づいて授業を展開する。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 理学治療学1[基礎運動療法]

担当講師 : 工藤 美保子

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : シンプル理学療法学シリーズ
(出版社) : 運動療法学テキスト(南江堂)参考書 : 標準理学療法・作業療法学 生理学第5版
(出版社) : (医学書院)

教育目標 【到達目標】 : GIO: 学生は基本的な運動療法を実施できるようになるために、運動療法の基礎知識を身につける。また関節可動域訓練の基礎知識や技術を理解できる。SBO: ①運動療法の対象や目的を理解できる。

②運動療法に必要な骨関節、筋肉の機能構造を理解できる。③関節可動域訓練で適切な保持・触診が行える。

【講義概要】

前期は教科書を基に運動療法の基礎知識や、運動療法に必要な骨関節、筋の機能構造を理解するための講義を実施する。関節可動域訓練の基礎知識を学習し、適切な保持ができるよう実技練習を実施する。

回数	項 目	内 容
1	運動療法総論	運動療法とは (定義、歴史、目的、対象、分類)
2	運動療法総論	運動の必要性和効果
3	運動療法総論	運動療法の順序 トレーニングの基礎的原理
4	関節の機能と障害	骨・関節の構造と機能
5	関節の機能と障害	骨・関節の構造と機能
6	関節の機能と障害	骨・関節の構造と機能
7	関節の機能と障害	骨・関節の構造と機能
8	まとめ	まとめと復習
9	筋肉の機能と障害	骨格筋の構造と機能
10	筋肉の機能と障害	骨格筋の構造と機能
11	筋肉の機能と障害	骨格筋の構造と機能
12	関節可動域訓練	関節可動域訓練の目的と意義
13	関節可動域訓練	関節可動域の維持と改善
14	まとめ①	総復習①
15	まとめ②	総復習②

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

担当教員は、病院や施設、訪問リハビリテーションにおける急性期から慢性期までの理学療法経験を授業に生かしていきたい。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 理学治療学1[基礎運動療法]

担当講師 : 石川 幸喜
工藤 美保子

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書
(出版社) : 運動療法I 第2版(神陵文庫)参考書
(出版社) :

教育目標【到達目標】：理学療法の土台となる運動療法の基本について、臨床でよく取り入れられている内容について学習する。特に関節可動域運動、筋力増強運動に重点を置いて理解を深めることを目標とする。

【講義概要】

運動療法I（神陵文庫）を基に、関節の基本的な構造、役割、また可動域制限の原因、可動域運動の方法を適宜実技を行い学習する。また、筋力増強の理論、筋力増強の方法を実技を踏まえて学習する。

回数	項 目	内 容
1	基本的運動	力源の違いによる分類 筋収縮の違いによる分類
2	運動療法機器	各種運動療法機器について
3	関節可動域運動	総論
4	関節可動域運動	関節可動域運動I（維持）1
5	関節可動域運動	関節可動域運動I（維持）2
6	関節可動域運動	関節可動域運動II（改善）1
7	関節可動域運動	関節可動域運動II（改善）2
8	関節可動域運動	関節モビライゼーション
9	筋力維持増強運動	筋力維持増強運動の目的と適応 必要な基礎知識 筋力とは
10	筋力維持増強運動	筋力に影響を与える因子 基本的事項
11	筋力維持増強運動	筋力維持増強運動の実際
12	持久力増強運動	持久力とは 筋持久力
13	持久力増強運動	全身持久力 持久力の評価
14	持久力増強運動	持久力増強運動の実際
15	まとめ	講義のまとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA（優）、70点以上80点未満をB（良）、60点以上70点未満をC（可）とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とする。

病院で勤務経験のある理学療法士の実務経験に基づいて、高齢者に対する関節可動域運動や筋力強化運動の指導に取り組んだ経験を授業に生かしていきたい。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 理学治療学2〔物理療法〕

担当講師 : 藤瀬 幸一

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間

教科書 (出版社) : 標準理学療法学 専門分野 物理療法学 第5版(医学書院) (出版社) 参考書 (出版社) :

教育目標 【到達目標】 : GI0:物理刺激を生態に加えることの意味を知った上で、臨床現場に必要な適応・禁忌を列挙し実施する力を身に付ける。SB0:①物理刺激を生体に加えた際の反応について説明できる。②各種療法を比較し、それぞれの療法の効果について説明できる。③各種療法を実施する際の必要事項を患者に説明できる。

【講義概要】

物理療法は、種々の物理的エネルギーを使用して行う治療法である。物理的エネルギーを生体に使用した際の効果や安全で効果的な機器の取り扱いなどについて学びます。

回数	項 目	内 容
1	物理療法総論	物理療法の定義、歴史、分類
2	リスク管理	物理療法におけるリスク管理
3	温熱療法	熱エネルギー、温熱療法の生理学的作用、適応、禁忌、注意点
4	〃	〃
5	ホットパック	ホットパックの原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
6	パラフィン浴	パラフィン浴の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
7	超短波・極超短波	超短波・極超短波の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
8	〃	〃
9	超音波療法	超音波療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
10	〃	〃
11	寒冷療法	寒冷療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
12	〃	〃
13	水治療法	水治療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
14	〃	〃
15	電気刺激療法	電気刺激療法の定義・分類、基礎と生理学的作用
16	〃	〃
17	電気刺激療法	神経筋電気刺激／治療的電気刺激の特徴、実施手順、禁忌・適応
18	〃	〃
19	電気刺激療法	経皮的電気刺激及び干渉波の特徴、実施手順、禁忌・適応
20	〃	〃

2 1	電気刺激療法	機能的電気刺激の原理、バイオフィードバック、電気診断
2 2	〃	〃
2 3	光線療法	光線療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
2 4	〃	〃
2 5	頸椎牽引療法	頸椎牽引療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
2 6	〃	〃
2 7	腰椎牽引療法	腰椎牽引療法の原理、生理学的作用、適応、禁忌、注意点、実技
2 8	〃	〃
2 9	まとめ	物理療法のまとめ
3 0	〃	〃

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式を基本とするが、講義の後に物理療法の体験を行う。

担当教員は理学療法士として病院での勤務経験があり、実際に物理療法を患者に行っていた。その経験に基づき授業を展開する。

2023年度 教育計画（理学療法学科）

学 年 : 1 科 目 名 : 地域理学療法学 I

担当講師 : 降旗 悟志

単 位 : 2 単 位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 地域リハビリテーション学テキスト 改定第3版 (南江堂) 参考書 : (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : GIO : 地域リハビリテーションの理念と理学療法士の役割を理解する

SBO : ①地域リハビリテーションに関する保険制度が説明できる②多職種とのかかわりを具体的に説明できる

③医療・介護分野での理学療法士の役割を具体的に説明できる④事例検討に参加し自分の考え述べることができる

【講義概要】

医療や介護などの保険分野で活動する理学療法士の役割・多職種とのかかわり方、地域包括ケアシステムなどを理解し
高齢者が在宅で生活してするための各施設ごとの介護予防や生活期の理学療法の総論を学ぶ。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・地域とは
2	地域理学療法総論	地域リハビリテーションの理学療法士の役割
3	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムについて
4	制度について	介護保険制度について
5	多職種連携	多職種連携について
6	医療施設	医療機関でのリハビリテーションについて
7	入所施設	介護老人保健施設・介護老人福祉施設について
8	在宅サービス	通所・訪問リハビリテーションについて
9	生活環境論	住宅改修と福祉用具、リスク管理について
10	認知症	認知症の症状と接し方
11	介護予防①	介護予防教室
12	介護予防②	体力測定の実技
13	パラスポーツ	パラスポーツについて
14	症例検討	症例検討・発表
15	まとめ	まとめと確認

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義・実技方式を行う。

担当教員は理学療法士として病院・介護施設・在宅の分野での市町村の介護予防体操の制作や多職種連携の協議会などに参加し活動を行っている。

2023年度 教育計画 (理学療法学科)

学 年 : 1 科 目 名 : 地域理学療法学 I

担当講師 : 中川 智隆

単 位 : 2 単位 教育時間 : 60 時間(通年)

教科書 : 地域リハビリテーション学テキスト (南江堂) 参考書 :
 (出版社) : 福祉住環境コーディネーター3級速習レッスン&問題集 (U-CAN) (出版社) :

教育目標 【 到達目標 】 : ◎地域リハビリテーションの理念を理解する。

- ・地域社会における理学療法士の役割を説明できる。
- ・障害者スポーツの関わりとしてのリハビリテーションを理解する。

【講義概要】

高齢者の方がご自宅で生活する上で必要な動作、福祉用具や住宅改修といったご自宅の環境について介護予防について具体例を交えながら講義を行う。

回数	項 目	内 容
1	オリエンテーション	地域リハビリテーションの考え方について
2	ライフステージと高齢者像	ライフステージと高齢者像と加齢に伴う心身機能の変化について
3	介護保険サービス概論 (介護保険の仕組み)	介護保険サービス概論について
4	地域包括ケアシステムのなかでの 理学療法士の役割	地域包括ケアシステムのなかでの理学療法士の役割について
5	地域支援事業のなかでの 理学療法士の役割	地域支援事業のなかでの理学療法士の役割について
6	介護保険サービス下 (生活支援場 面) での理学療法士 1	生活支援にかかわる理学療法士の役割 介護老人保健施設・介護老人福祉施設
7	介護保険サービス下 (生活支援場 面) での理学療法士 2	訪問リハビリテーション 通所リハビリテーション・通所介護
8	介護予防と健康増進	介護予防と健康増進の概念
9	介護予防と健康増進	これまでの介護予防事業のあり方 介護予防・日常生活支援総合事業の実際
10	住宅環境論 1	住宅改修・福祉用具
11	住宅環境論 2	暮らしやすい生活環境を目指して
12	住宅環境論 3	自立生活を支援する制度と方針
13	住宅環境論 4	ユニバーサルデザイン共用品と福祉用具
14	住宅環境論 5	安全・安心・快適な住まい
15	まとめ	まとめ

【成績評価方法】 定期試験の成績により、80点以上をA(優)、70点以上80点未満をB(良)、60点以上70点未満をC(可)とし、60点未満は不合格とする。なお、総授業時間の8割以上の出席者に対してのみ成績評価を行う。

【授業の方法・形式と教員紹介】 講義方式と実習方式を基本とする。担当教員は訪問リハビリテーションや介護予防事業に携わった経験があり、実務経験を基に理学療法士として必要な知識が得られるよう、授業を進めていく。